

今後のごみ処理行政 の考えは



飛賀 貴夫 議員

答 十分に精査し一定の方向性を導く

問 大牟田リサイクル発電事業が平成34年度末に終了が決定。

当町が、可燃ごみ処理を委託している「クリーンパークわかすぎ」は施設稼働を10年間延長する方針を打ち出し、当町も、これに従う方針。

「クリーンパークわかすぎ」は平成29年度で15年が経過し、今後10年間延長するための施設改修費が、高額になるのでは。

答 環境課長 平成28年度の修繕費は約1億3,600万円。29年度予算は約1億4,100万円。29年度から39年度まで11年間で、約10億円を超える修繕費が試算される。

問 非組合員の当町は、改修費の負担を強いられるが、改修内容の確認や工事費の妥当性などについて、意見を述べる事ができるのか。

答 課長 須恵町外二ヶ町清掃施設組合と宇美町、志免町を継続していく場合、議会は3町で行われ、それと併せ5町の協議会が設けられている。

その中で、できる限り意見を述べ話し合いで合意して事業を進めたい。

問 全国的に見て今後RDF事業の見通しは。

答 課長 全国的にも福岡県と同様に、老朽化した施設の維持管理費等を理由とし、事業継続は非常に厳しい状況になっている。

問 当町に新たなごみ処理場を建設する事で、その焼却から得られる熱エネルギーを地域に還元することが可能になる。

民間活力の導入で、ごみ処理施設や熱還元施設では新たな雇用を生み、若者定住や高齢者移住につながる。さらに、様々なアイ

デアで新たな産業を創出する事が可能である。若者の農業参入支援を行い、温室栽培で宇美町の特産物の創生開発につながるり、まちの活性化になるものと確信できる事業であると思う。

クリーンパークわかすぎに年間3億円以上の委託費を払い続ける事が良いのか、新たな施設を建設して委託費や維持管理費を削減し、直接住民サービスに繋がる部分を再検討しては。

町長の適切な政治判断が求められている時期であると考えているが。

答 町長 町の財政状況を考えると、多額の財政出動を要する事業運営形態については、非常に困難である。

スケールメリットを生かした事業を推進して行く事が基本である。今後、平成35年以降の運営等については、十分に精査を議会と協議をしながら、一定の方向性を導き出したい。



クリーンパークわかすぎ



待機児童解消を

答 保育支援に努める

古賀 ひろ子 議員

問 宇美町における保育所等の整備の現状について、また、新年度の入所予定児童数及び待機児童数は。

答 子育て支援課長
平成27年度から、保育所等の整備を図り、総数144人の定員増、合計828人の定員となった。

入所予定数は、在園児564人、新園児156人、合計720人。

待機児童数は66人で、0歳児9人、1歳児25人、2歳児16人、4歳児2人、その他求職活動中の待機となっている。

町立保育園では、保育士16名不足している状況。

問 糟屋地域の近隣町の待機児童数、また、広域的保育所等利用事業の推進も必要だと思いが見解は。

答 課長 粕屋町200人、志免町・須恵町100人程度の待機児童。

企業型保育事業は、志免町で3園開設予定、宇美町には該当する事業所はない。

問 今後の保育所等の定員計画は。

答 課長 現在の定員828人を平成31年度には、860人に定員を確保する計画。

平成29年中に井野地域で開園予定の認可保育所定員40人。

待機児童解消加速化プランの最終年度に合わせ、50人、19人規模の定員予定で計画、今後、待機児童の解消が見込まれる。

問 町立保育園は改修時期がきていると思うが今後の展望は。

答 課長 保育園の老朽化の問題は、更新の時期が来ているが段階的に、民間活力等も導入しながら改修を進めていく。

問 保育士の処遇改善、保育コンシェルジュの取組は。

答 課長 保育士の処遇改善をこれから

も、前向きに検討していく。
保育コンシェルジュは、国の利用者支援事業で専門の相談員を新たに配置し、子育て相談や保育ニーズに対応していく。

◆宇美町版ネウボラ
(助言の場)の充実に

平成29年4月現在		入所予定数	
保育園名	定員	入所数	
町立	4保育園合計	510	443
私立	宇美八幡宮	90	98
	宇美タンポポ	120	104
認定こども園	空とぶくじら幼児園	54	38
	ファミーズ ENGLISH スクール	30	6
小規模保育所	どれみ乳幼児園	19	14
家庭的保育所	四王寺坂ひかり乳幼児園	5	5
総合計		828	708
平成27年度から整備した定員		144	